



平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月11日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 村上 真之助
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役 管理本部長（氏名） 安岡 信幸（TEL）0798(43)1065
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績（平成24年3月1日～平成24年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	35,411	4.7	1,468	44.6	1,567	40.3	691	—
24年2月期第1四半期	33,806	9.1	1,015	△9.8	1,117	△5.7	△865	—

（注）包括利益 25年2月期第1四半期 720百万円（87.2%） 24年2月期第1四半期384百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	24.69	—
24年2月期第1四半期	△30.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	68,380	37,544	49.1
24年2月期	65,222	37,223	51.0

（参考）自己資本 25年2月期第1四半期 33,554百万円 24年2月期 33,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	12.00	—	12.00	24.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

（%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	68,000	2.0	2,400	38.7	2,500	28.0	1,200	—	42.85
通 期	140,000	4.3	5,200	8.2	5,500	6.3	2,600	82.0	92.83

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料の3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
- (注) 変更の詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期1Q	32,267,721株	24年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	4,260,747株	24年2月期	4,259,787株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期1Q	28,007,292株	24年2月期1Q	28,009,157株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であり、

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目、その他の事項の金額は、従来、千円単位(単位未満切捨て)で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位(単位未満切捨て)で記載することに変更いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災後の復興需要や政府のエコカー購入支援策などにより一部で回復傾向が見られますが、欧州における国家債務危機や国際競争激化による国内産業空洞化などの不安要因を抱えており、依然厳しい状況が続きました。

また、当食肉業界も、消費者の低価格志向等から、厳しい経営環境にあります。このような状況のなか、当社グループは、環境の変化に対応した営業体制と食肉の生産から小売・外食事業までの一貫経営を推進して、経営体質の強化と安定的な成長を目指しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、積極的な設備投資による牛・豚の繁殖肥育事業の拡充に努めました。また、需要の期待できるコンビニエンスストアチャネル専任の営業組織を強化しました。食肉等の小売及び外食事業においては、既存店の活性化、新店の確実な立ち上げなどの収益改善と、昨年12月にグループ化したステーキレストランチェーンの競争力の強化に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高354億1千1百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益14億6千8百万円（前年同四半期比44.6%増）、経常利益15億6千7百万円（前年同四半期比40.3%増）、四半期純利益6億9千1百万円（前年同四半期は、投資有価証券の評価損計上等により8億6千5百万円の四半期純損失）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は280億8千3百万円（前年同四半期比2.5%増）、セグメント利益は13億5千8百万円（前年同四半期比36.6%増）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は51億1千6百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益は3億2千2百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は17億4千8百万円（前年同四半期比51.9%増）、セグメント利益は5千5百万円（前年同四半期2千6百万円のセグメント損失）となりました。

④その他

売上高は4億6千3百万円（前年同四半期比45.8%増）、セグメント利益は2千6百万円（前年同四半期比33.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて31億5千7百万円増加し、68億3千8百万円となりました。これは主に、季節要因による売上債権の増加及びたな卸資産の増加等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて28億3千7百万円増加し、30億3千6百万円となりました。これは主に、季節要因による仕入債務の増加等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて3億2千万円増加し、375億4千4百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、本年4月13日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,554	14,628
受取手形及び売掛金	12,104	14,320
商品及び製品	5,474	7,190
仕掛品	1,933	2,077
原材料及び貯蔵品	622	754
その他	2,235	2,311
貸倒引当金	△132	△133
流動資産合計	37,792	41,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,976	18,196
減価償却累計額	△10,974	△11,138
建物及び構築物（純額）	7,001	7,058
土地	9,056	9,069
その他	12,376	12,646
減価償却累計額	△9,355	△9,529
その他（純額）	3,021	3,117
減損損失累計額	△575	△557
有形固定資産合計	18,503	18,686
無形固定資産		
のれん	238	154
その他	247	241
無形固定資産合計	485	396
投資その他の資産		
投資有価証券	4,948	4,557
その他	3,622	3,707
貸倒引当金	△130	△115
投資その他の資産合計	8,440	8,149
固定資産合計	27,430	27,232
資産合計	65,222	68,380

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,729	10,578
短期借入金	4,261	4,659
未払法人税等	1,407	814
賞与引当金	597	791
その他	4,544	4,600
流動負債合計	18,541	21,445
固定負債		
社債	640	610
長期借入金	5,842	5,871
退職給付引当金	795	799
役員退職慰労引当金	144	150
その他	2,036	1,960
固定負債合計	9,458	9,391
負債合計	27,999	30,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	11,952	11,952
利益剰余金	20,121	20,476
自己株式	△2,985	△2,986
株主資本合計	33,386	33,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	436	231
繰延ヘッジ損益	2	△1
為替換算調整勘定	△537	△416
その他の包括利益累計額合計	△97	△186
少数株主持分	3,934	3,989
純資産合計	37,223	37,544
負債純資産合計	65,222	68,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	33,806	35,411
売上原価	28,425	29,071
売上総利益	5,381	6,340
販売費及び一般管理費	4,365	4,872
営業利益	1,015	1,468
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	4	3
負ののれん償却額	14	14
協賛金収入	27	29
その他	88	108
営業外収益合計	141	159
営業外費用		
支払利息	27	33
その他	12	26
営業外費用合計	39	60
経常利益	1,117	1,567
特別利益		
貸倒引当金戻入額	19	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	9	—
受取補償金	—	9
その他	0	1
特別利益合計	29	10
特別損失		
固定資産処分損	2	8
投資有価証券評価損	2,131	—
店舗閉鎖損失	1	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	118	—
その他	15	—
特別損失合計	2,270	8
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,122	1,570
法人税等	△305	773
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△817	796
少数株主利益	47	105
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△865	691

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△817	796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,182	△202
繰延ヘッジ損益	6	△4
為替換算調整勘定	13	128
持分法適用会社に対する持分相当額	—	2
その他の包括利益合計	1,202	△76
四半期包括利益	384	720
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	367	602
少数株主に係る四半期包括利益	17	117

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年3月1日至平成23年5月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食肉等の製 造・卸売事 業	食肉等の小 売事業	食肉等の外 食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	27,404	4,932	1,151	33,488	318	33,806	—	33,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,581	220	36	1,838	3	1,842	△1,842	—
計	28,986	5,153	1,187	35,326	321	35,648	△1,842	33,806
セグメント利益又は 損失(△)	994	335	△26	1,304	39	1,343	△328	1,015

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△328百万円には、セグメント間取引消去△75百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△252百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年3月1日至平成24年5月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食肉等の製 造・卸売事 業	食肉等の小 売事業	食肉等の外 食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	28,083	5,116	1,748	34,948	463	35,411	—	35,411
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,562	14	26	1,604	10	1,614	△1,614	—
計	29,646	5,131	1,775	36,552	473	37,026	△1,614	35,411
セグメント利益	1,358	322	55	1,736	26	1,762	△294	1,468

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△294百万円には、セグメント間取引消去△48百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△245百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。